



2013～2014

国際ロータリー第 2730 地区

週報 佐土原ロータリークラブ

会 長：宮原建樹 副会長：日高邦孝
幹 事：原田宗忠 会 計：竹下 隆
事務局：吉野由里子 会報委員：藤堂孝一
例 会 場：サンホテルフェニックス

RI2730 地区ガバナー 大迫三郎
中部分区ガバナー補佐 尾崎敏弘
RI 会長テーマ **みんなに豊かな人生を**
2730 地区テーマ 職業奉仕の実践

RI テーマ
みんなに豊かな人生を

例会会場住所：宮崎市大字塩路浜山 3083 番地 『ロータリーを実践し
例会場 TEL：0985-21-1313・FAX 0985-21-1347 みんなに豊かな人生を』
事務局住所：宮崎市佐土原町下田島 11703-18 TEL0985-62-7833 FAX0985-62-7877

第 1272 回例会 平成 25 年 9 月 4 日(水)

<今日のプログラム>

- 1.点 鐘
- 2.ロータリーソング
「国歌斉唱」
「奉仕の理想」
- 3.会長の時間
- 4.幹事報告
- 5.出席報告
- 6.ハッピーBOX披露
- 7.委員会報告
- 8.入会式 *川畑恵理子さん* 鷗野隆春さん
- 9.フォーラム「新世代月間について」
- 10.点鐘
- *理事・役員会

第 1271 回例会記録 平成 25 年 8 月 28 日(水)

■会長の時間



会長 宮原建樹君
本日は第 1271 回、8 月最後の例会です。先日は入会 3 年未満の新会員研修会を岩切君の蓮光寺にて行いました。第一回目は講師として岩切君、

正岡君、藤堂君にお願いしました。新会員として相川君、林萬松君、田邊君、高山君の 4 名に参加いただき、直前会長の村上君、幹事原田君を含め 10 名で行いました。時間の関係で、岩切君と正岡君のお二人に務めて頂き藤堂君には次回勤めて頂くと思っておりますので宜しくお願い致します。実に分かりやすく端的明解にロータリーの「職業奉仕」を伝えて頂きました。お陰で 4 名の方々からも率直な質問をしやすい雰囲気を作っていただきました。質問に対しても明確な応答をして頂き、大変充実した内容の第 1 回目となりました。その後場所を移して懇親会の方には 15 名参加していただき大変楽しい懇親会となりました、2 次会にも多くの方が行かれた様です。今後も 2 ヶ月に 1 度行って参ります。会員どなたでも参加していただきたいと思ひました。岩切夫人にはお茶菓子まで用意していただき大変お世話になりました感謝申し上げます。

アーサー・シェルドンの信念である「最も 良く、奉仕

するもの、最も良く報われる(He profits most who serves best.)これが現在ロータリーの職業奉仕の根幹ですがこれはシェルドンがロータリー入会後も信念を貫き継承したものであります、そのお陰で今受け継がれ我々の自己研鑽に最も影響を与えている訳ですが、自分の信念を貫き通すという事は、我々サービス業・商売をしていますと難しいと感じております、相手に合わせる事で仕事に支障を出さず、お客様の満足に繋がる事も多いからですが、しかしシェルドンのこの「職業奉仕」理念は貫き通すほどに自他共に喜びを齎すという事ですから実践有るのみだと言うことになります。また仕事に限らず生き方の中に生かしていく事でより良い人生がおくれるという事だと思います。毎週職業奉仕の話をして言ったものの、なかなか十分な準備も出来ませんが、勉強ばかりしすぎて頭でっかちになってもいかな・・・とも考えております、が「職業奉仕」の学びは続けて行きたいと思ひます。又一週間勉強してお話しさせていただきます。

■ 幹事報告

●幹事 原田宗忠君
高鍋 R C 9 月の例会案内～5 日＝会員職業卓話

12 日＝新世代月間卓話 19 日＝観月会(夜間例会)

26 日＝外部卓話一

高鍋警察署 (100 万ドル)

* 西都 R C 9 月の例会案内～3 日＝外部卓話一西都警察署 10 日＝ガバナー公式訪問 (100 万ドル) 17 日→20 日観月会 18:30～24 日＝夜間例会一桜川・新富 P B C 交流会

* 恒久基金～大口寄付アンケートの件

* 第 12 回日韓親善会議開催のお知らせ

* 佐土原 9 月の例会案内～4 日フォーラム新世代月間入会式 9 月のセレモニー 理事役員会

11 日一会員卓話「岩切正司君」

18 日は変更しまして、観月会・夜間例会に致します。25 日一会員卓話「柳田光寛君」

観月会詳細は後日お知らせ致します。



■ 出席報告

●永野陽子君



会員数 24 名 免除 2 名	出席数 20 名
欠席者＝梶田君・長倉君 大久保君・高山君	出席率 86.9% 修正率 90.9%

先日 24 日土曜日の「さどわらんまつり・えきんまえ」には皆様のご協力有り難う御座いました。お陰様で大盛況にてTシャツの 200 枚も完売し、生ビールは 1500 杯、焼酎は足りなくなる次第でした。毎年手応えが大きくなっていくのを実感しております。

■ハッピーBOX披露

●相川久仁子君

＜ニコニコへ＞

- * 林厚雄君～最近出席できなくて申し訳ありません！今日も何とか出席できましたが少し早めに退席しなければなりません（ごめんなさい）来月からは 100%の出席できる事を願っています。
- * 日高邦孝君～お蔭様で新社屋移転も無事に終わりました。これからよろしくお願い致します。
- * 正岡文郁君～残暑お見舞い申し上げます。

＜財団へ＞

- * 岩切正司君～来月から 2 人会員が増えますね。

■ 委員会報告

●柳田光寛君



先日 24 日土曜日に都城で行われた地区社会奉仕委員会へ参加して参りました。中部分区の出席が非常に少なかったですね。西都・佐土原・高鍋は真面目に参加しておりましたが（笑）赤十字の献血協力の話があり、所長さん他お見えになり献血状況等のお話がありました。特に若い方に協力をして欲しいという事でした。せっかく献血に行っても貧血や肝機能低下等で出来ない場合もあるそうです。自殺防止の為に取り組み、活動の話もあり、自殺の現状説明～防止の為に悩んでいる方の話を聴いてあげると言うのが一番の防止策であると言う事でした。詳しくは資料を見ていただきたいと思いますので回覧いたします

●日高邦孝君

今月の 18 日 19 日 20 日の 3 日間で新社屋へ移転いたしました。数ヶ月前から段取りはしていたものの私の仕事は食材を扱っておりますから備品として冷蔵・冷凍庫が大きく占めております。全スタッフで搬送も搬入もリレー形式で素早く行うようはしましたが・・・大

変でした。割り振りができないままとにかく詰め込む事最優先にしましたので、未だに整理がついておりません、通信機器も長い時間止めるわけには行きませんからこれも大変でした・・・が 20 分ほどのストップで営業には何とか支障を出さずに済みました。後は空調設備などこんなに沢山あったのかと驚きながらの作業でした。そんなことで事務所は広くなりましたが定位置に定まっていけないものですからシックリ行きません。お客様からの要望の多かった小売り用の冷蔵庫商ケースも置き小売の方もさせていただきます。皆さまもお茶のみ方々気軽にいつでもお立ち寄り下さい。皆さまにも差し上げましたタオルと商品券を持ち近隣を挨拶に回りましたが 2 日間掛かりました。近くに肉屋が無いと言うこともあり、地域柄でもあるのか、大変暖かな対応をしていただき嬉しく思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



●中武幹雄君



久しぶりに前でお話をさせていただきます。そこで小話をひとつ（素晴らしい小話・省略させていただきます。（笑））ロータリー・職業奉仕・・・

捉え方難しいですね、正岡君が言われた「職業奉仕」は自分の仕事を一生懸命することです！と、これに尽きるかなと思います。ロータリークラブは奉仕する団体ではなく奉仕する人の集まりであるといわれております。8 月のロータリーの友の中でも・・・会員増強の必要性等が掲載されていますが、その中でも一業種一会員の異業種交流の意義も再度考え直していく必要性も書かれています。是非目を通して下さい。

■ 新会員研修会参加報告

●相川久仁子君



講師のお二人から貴重なお話を聞かせて頂きました。蓮光寺の本堂と言うことで奥様から茶菓子まで出して頂きまして大変恐縮致しました。

身の引き締まる思いで研修会に参加させて頂きましたが大変分かりやすくロータリーの歴史と勉強させて頂き正岡会員から大変厳しいお言葉も頂戴いたしました。入会后 8 ヶ月過ぎたところで今回の研修会で勉強させて頂き更に理解が深まり今後も研修会等積極的に参加して行き早く皆

様の知識に並べたらいいかなと思った次第です。

『私の職業宣言』

●林 萬松君



入会して1年4ヶ月になりますが、今回の研修会に参加したことで奉仕・職業奉仕とは？に明解な納得出来る言葉を頂けて理解が深まり今後のロータリー人生に少しだけ光が射した様な気持ちになりました。

例会にも畏まることなく参加して行こう！という気持ちになりましたので今後も機会ある毎に参加して参ります。お寺の本堂に入ったのも両親の法事以来でしたが、やはり本堂というのは宗派に関らず荘厳で厳粛な気持ちになり久々に落ち着いた気持ちにさせて頂きました。有り難う御座いました。

☆ 本日の食事☆



この度の、3クラブ合同研修会にあたり高鍋RCの田中さんから議題の資料をいただき、ロータリークラブの原点である職業奉仕の意味が入会したころはぴんと来なくて理解できずに今まで来たのが現実でした。

地区大会、地区行議会などにも20回となく参加してきたのですがなかなか理解できずにいたのですが、今でもこれといって理解しているわけではないのですが、最近の身内の出来事に遭遇してつくづく考えさせられております。

3年前に事業に失敗した人を目の当たりにして事業そのものに失敗はつきもので仕方ないことのように思うのですが、開き直ってなんでもOKというのを痛感したことがあります。人のためになるか、真実かどうかといったロータリーの4つのテストではないですが常にそのことに照らしての言動が自分に跳ね返ってくるというのを実感しました。高校を卒業して東京の建設会社に入社して数年したときに、社長と工事部長が親会社から派遣されてきました。入社して会社の月一回の会議に参加していましたが、社長と工事部長が変わってからの会議は目を丸くしたのを覚えております。常に工事現場を巡回して悪い箇所が発見されると会社に工事所長と次席クラスをすべて集め徹底して指摘箇所について議論をして悪いことの理解をさせて改善をはかっていたのでした。

原宿の交番の現場では途中まで出来ていたのを施工が悪いからという事で、現場に会社の従業員をすべて集め叩き壊したことがありました。悪いところを修理すればいいものをと自分では思っていました、その時はすべて壊して最初から作り直したのでした。それまでは馴れ合いの仕事でごまかしていた体質があったのが、このことを通じてプロとは何かと目が覚めたような気がしております。13年間会社にいましたが、いい体験を積んだと思っています、若いときにすばらしい人に出会うことが大事だと痛感し、雅にロータリーもそのような人と知り合える機会がある事を入会して知ったような気がしております。

4つのテスト『言行はこれに照らしてから』

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか